

刊夕日七月一



定額 一冊五錢 一月一元五角 半年七元五角 一年十四元 廣告刊五錢 二字一行情五錢 五行情十錢 日曜祭日の翌日休刊 發行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日印刷株式會社

修行即奉仕

眞 繼 雲 山

佛法には上求菩提といふとて上を向いて正覺を求むるといふ修行門がある、それと對して下化衆生といふて下を向いて衆生を化益救済するといふ教化門がある。順序としていへば、先づ佛弟子としての修行を完成して申し分ない身分となり然る後に衆生を化益するといふのが理想的のやうではあるが、この肉身を現じてゐる間は、これで完全な佛様になつたといふことは、われ／＼凡人としては先づ有り得ない、私たちは終生を通じて不束な修業者であり、沙門である、若し佛としての完成の期を待つといふことであるならば、それは百年河清に非ずんば肉身示寂の後でなくては望まれない。

而かも煩惱具足のこの肉身こそ奉仕化益の唯一機關である、西山國師の曰く『生きて身をはちすの上にやどさずは念佛申す甲斐やなからん』であつて、不束なるこの生身こそ唯だ一つの用品の種である故、生身存するあいだに取り急ぎ修行をも教化をも併せ行はねばなるまい、若し修行完成して然る後に他を教化せんとて自行にのみ専念し未だ利他の行に入らざる内に老少不定、早く既に世縁盡くが如きこともあらんか、悔ゆるとも永久に取り返へしは附かず、その生涯は光明なくして終るであらう。茲に於てか知るべし、私たちは自ら修行しつゝ同時に他を救済し世に奉仕せねばならぬ、一步を進めて修行そのことが、そのまゝ奉仕となり得ば一石二鳥といふべく、佛教にいふ自行化他とは離れたる別個の二問題ではなく、自らの修行がそのまゝ社會への奉仕である、その意である、その自行化他の圓滿具足したものを菩薩といふのである。法を求め悟りを求め佛を求むるといふのは机上の學問理論ではなくして行を指すのであり、その行の内容は自行化他である、佛法の修行がそのまゝ世を益するものでなくてはならぬ。われ／＼人間の壽命は日一日刻一刻と盡くこと猶し点火せられた蠟燭の如くである、その生涯を通じて修行であると共に、その修行は常に世を照らしつゝあることを要する。

生活

大竹 秋 平



生活はげしい闘争である見よ、あの星でさい火花を散らして、たゞかうではなにか、負けた者が？ 落魄するのだ、この真理を誰人が否み得よう、静秘なこの木蔭でさい？ 蚯蚓と蛙とがはげしい戦を交すのだ？ 生るための生る姿だ？ 平和は只飽満し切つたもので、疲れた？ 風貌なのだ？ やがて生る意氣が急迫して來るならあらゆる生物は正義をわすれて、血を流すのだ？ おゝそしてそれを恐れを正義心、彼の生存はその時から極端におびやかされて萎縮されてしまふのだ？

時計眼鏡

ト キ ワ ヤ 平一・電三三九

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ
煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢
香りのよい家庭用別焙



花柳病科 専門

木村外科醫院

■入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番

當地方に於ける

タクシー界のナンバーワン

最高級車プリモス號増車致しました 何卒御用命の程御願ひ致します

電話三九五番

セリザワタクシー

東京市本郷駒込追分町 (茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約二十分 電車約十五分)

銀駒込館

一泊金一圓八十錢 (但シ二食附) 電話(小石川)三一六五番

寒い／＼北海道で出来る靈藥 胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥 松前公御典醫之秘法 家登 靈効散



胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御試下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアインの三分の一安價で効はアイン以上値段が安いものですから實際大評判の靈効散です、本は責任藥に付き無効の時は返金致します(定價は八日分五十錢です) 平町古鍛冶町(電話四四番) 靈効散 阿康藥舖

革靴自製部新設

注文靴 修繕靴 親切丁寧 請合

●高級ゴム長靴 マルトモビル内 ●五圓均一靴 菊地靴店 ●各種靴類 電話呼四三六番

外科

門 專 科 線 光 X

上田外科醫院

平町南町 電話二一九番

氣の毒な人人達に 春のおとづれ

救済法適用者十名に 生活扶助費支給さる

元日から実施

本年より実施される貧困者の救済法に就いて町役場では去月中旬より各區長を通じ全町の救済法適用者を調査した結果三十餘名に達したのを是を縣當局へ申請した處種々の條件に拘束され適用者は十名に限定され右十名の者には元日より最高一日廿錢から十五錢迄の生活扶助をされる事になった。

失業救済に依る

本年度の諸事業

石城郡下七年度における失業救済事業は勿來町九面トネル三株線改修工事なすことに決定したことは既報の如く更に郡選出井上、石川兩縣議の運動により夏井川神谷大平地内堤防二百間、湯本、石川線上遠野御所峠、磐崎村田場坂トネル

二萬圓節約

石城の金肥

石城郡農會では紫雲英の栽培による金肥の節約に専心

千支に困む

石城の傳説

絹谷富士
群猿奇談

十二支中今年を千支の當り年として我が物顔の猿公に就いては多い様でゐて其の文獻は甚だ少い。然し圖らずも本縣平町在に猿の物語り、しかも古來毛が三本不足なばかりに人になれなかつたと云はれてゐる猿が珍しくも人間に一杯喰ひせ

一反歩に對する紫雲英肥料は金肥を三圓節約することとなるので昨年度の如きは總裁反別で結局二萬圓の金肥が節約された。

前會長に記念品 平警察署内衛生事務研究會並に兵事事務研究會は會長たる櫻村慶氏を今回の署長異動に依つて辨職したので六日役員會を開き同氏に對し金一封を贈る事に決定した。

石城郡下七年度における失業救済事業は勿來町九面トネル三株線改修工事なすことに決定したことは既報の如く更に郡選出井上、石川兩縣議の運動により夏井川神谷大平地内堤防二百間、湯本、石川線上遠野御所峠、磐崎村田場坂トネル

小學校長會

石城郡小學校長會議は十一

たといふ三二年的超ナンセンスな奇譚を耳にしたので五日態々その物語りの山中を訪れてみた

綺譚の發祥地は石城郡草野村字上片寄字絹谷の山中俗に絹谷富士と呼ばれる小山であつて平町から縣農事試験場石城分場前までバスを捨て、神谷街道に出て上神谷の山中に差掛る名の知れぬ峠を越して北へ北へと進み今度は上片寄の谷間を分けて更に縫ふ、平を出てか

約二里程だが邊りにはもう山々の雲氣を窺めて妙に物寂しい處右手に圓形の沼があり、左手により大きな圓形の沼が見える、此の二つの沼澤に挟まれて小丘と云ふ方が妥當的な三百尺位のなだらかな山が寝をべつてゐる、是が問題の目的地絹谷富士である

日午前十時より平第一小學校に於て開會左記事項を協議すると

△學級經營案の様式△球

嚴重に交渉

水道擴張を機とし 委員等が上京して

平町では保険料率値下げにつき東京保險協會並に仙臺支所に向つて再三交渉したが纏まらず依然その儘となつてゐたが水道擴張を機としこれが引下について一兩日中に伏見町長、井上、野崎、青沼の三交渉委員が上京保險協會において極力交渉することになつた

平町物價

白米 二等一キロ、一四五
三等同、一四五
白米 一等一キロ、一四〇
二等同、一四〇
白米 一キロ、一〇〇

往來

△縣議野崎滿藏氏 六日午後三時平驛着列車にて福

算教授細目の編成△郡女教員會の設立△郡小學校員會の設立

島より
△佐藤庄太郎氏 今朝平驛發列車にて上京

平町人羣

△材木町三二 石山忠三氏 長男卓

△北目町當時 石城郡神谷村大字中神谷字東作伊藤雪枝氏三女知子
△東京市本郷區駒込町中村 司氏(二九)研町高野テラヨ(二四)
△愛知縣豊橋市東入町藤森 福(二七)六間門直木ヨシエ(二三)

火災防火の一大革命

國民財産保全の一大福音

セロン防火劑現はる

セロン防火劑は從來の消火器や消火彈の様に火を見て消すに非らず未前に防火するのみならず耐久力を増加せしむるを以て其利益甚大なり使用個所

建築物の周圍、炊事場、風呂場、アンカ炬燵、提灯、戸障子其他火氣の恐ある個所

本劑は實驗の結果其効力偉大なるを以て各警察署町村消防組の賞賛を辱ふせり

本劑は個人賣りは致しませんから御希望の方は各町村消防組又は火防組に御申込下さい

東北セロン商會

店主 櫻井 清

塘り兼ねた善太郎爺は遂にへべれけになる迄呑み干して吧に歸つたが翌日も其の甘味が忘れられずつそ

の甘味が忘れられずつそり忍んで又その巖回を訪れ無茶苦茶に嘗め盡した、處が歸宅してから大腹痛を起し七轉八倒の苦みをみた、

當時の文獻に櫻盛嘔吐噴然大いに嘔ぐとあるから餘程の大苦しみたつたに違いない

前日甘汁を盗まれた猿がそれを知り復讐のため悪戯しお伽の國の山ではある

井の三の商切手

番 八 四
三 八
電 三 二
平 三

増田醫院

平町南町一
電話四八二

消防機關の發達と 各自の自覺に依り 火災が

年毎に減少する

夜警費のみでも三年間には

三千六百六圓五十錢を算す

平町役場で調査した同町に於ける昭和三年以來六年迄の火災數及損害高に依ると

| | | |
|----|----|--------|
| 年度 | 棟數 | 損害 |
| 三年 | 五 | 三、三六六圓 |
| 四年 | 六 | 一、八四一圓 |
| 五年 | 一 | 三、一〇〇圓 |
| 六年 | 一 | 三、九四五圓 |

となり逐年消防機關の發達と市民各自の自覺に依つて火災は減少しつつあるが各期間夜警を行ふ費用のみでも四、五、六の三ヶ年を合計して三千六百六圓四十九錢に達して居るのであるから尙一層の注意を要すると近く町役場より各戸に通牒を發する筈である

田町青年總會

田町青年分團にては本日午後七時より末廣亭に於て總會を開くが本年度退團者金子豊次、遠藤豊治小齊五郎の三君から天幕一張の寄贈あつた由

觀世流素謡會

觀世流素謡會は六日午後一時より田町鳥越師宅にて開かれた番組左の如くである

- 「賀茂」服部 猪狩 諸橋
- 「田村」新妻 井上「東北」
- 井上 門部(榮)阿部(虎)
- 「小袖」曾我 阿部 大島
- 「羽衣」服部 新妻「弱法師」猪狩 伊藤「狸」山際 阿部

左黨大恐慌

米價の奔騰で

清酒値上か?

石城郡地方の酒造界は目下最盛期に入らんとして米價の奔騰を見てゐるため仕込米の購入に相當難澁をきたして居り當然値上げするの必要ありとし組合員間で目下寄々協議中である

海軍志願打合

本年度に於ける海軍志願兵募集に就いて横須賀鎮守府人事部では同部の海軍中佐酒井茂吉氏を十日若松二十九聯隊留守隊に派遣し縣下各町村兵事係を招集打合を爲す

業組合では歩合半減に應ずべきか或は別の經營者を物色するかにつき各地方の大敷漁業状態を視察研究中である

商友會總會

明日谷口樓で

平商友會にては明日八日午後七時より谷口樓にて新年總會を催すが會費は二圓で出席者多數ある見込みである

石城通俗講演

石城郡教育會にては教育新聞社長作山美八氏を招き二月十一日より平町其他數ヶ所に通俗講演會を開くと

上水道擴張工事は

二月中旬頃完成か

豫定より一ヶ月早い

平町の上水道擴張工事は九分通り竣工残るは八幡小路地内の高架水槽と大工町踏切となつたが踏切地下鐵管埋設はいよいよ鐵道側で昨年末に起工今月下旬までに終了の豫定で目下これを急いで居り又高架水槽も材草全部が纏まつたので近く着工の筈であるから擴張工事は豫定より早く二月中旬ま

俳句合同大會

湖吟社、好間村十好會、内郷村麥畑吟社の三社合同主催による新年俳句大會は二日午後一時より平町丸友ホールに開かれたが當日の成績は好間十好會員鈴木秀山氏が十六点で一等であつたと

伊達郷友會

伊達郷友會は去る一日午後一時から驛前丸清旅館にて總會を開き非常な盛況であつたと

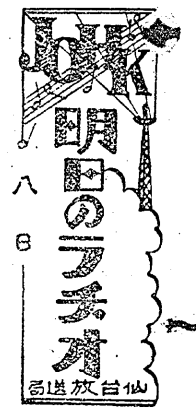
愈々十七日から

新川改修に着手

淺野某の所有地を

收用法適用するらし

平町外二ヶ村惡水豫防組合の新川改修繼續事業はいよいよ来る十七日から着工と決定したが今年度の事業は



明日のラジオ
今晩は南風
曇り勝ち小雨模様
後北西の風と
變り回復に向ふ

今晚の部

- 六、〇〇 子供の時間「詠曲と琵琶謡曲」イ葛城
- ロ狸々 酒井玉枝 平澤
- 文字 芝崎彌生 大橋良
- 江 江本知子 櫻間三保
- 子(笛)三谷良馬(小鼓)原
- 田才藏(大鼓)加藤良助
- (太鼓)宇野親一「琵琶五條橋」岡田旭稜子
- 後六、三〇 特別講演「昭和七年展望 國際問題」法

- 學博士末廣重雄
- 後七、三〇 滿蒙事情特別講座「政治史上より觀たる滿蒙」法學博士米田實
- 後八、〇〇 清元「梅の春」淨瑠璃清元梅壽太夫
- 後八、三五 小唄 春日と
- 後九、〇〇 太神樂「七福神」丸一外
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

- 前九、五〇 陸軍始觀兵式狀況
- 後〇、〇五 俗曲
- 後六、〇〇 子供の時間 お話「滿洲とは」金子義男
- 後六、三〇 運動講座「ラクビー」早わかり「河西三省
- 後七、三〇 講演「滿洲駐劄師團を巡して」第二師團參謀陸軍歩兵中佐天谷直次郎
- 後八、〇〇 ラヂオ「三人」大東鬼城外
- 後八、〇〇 歌澤「曉の鷄聲」松竹梅歌澤太夫芝金
- 後九、一〇 講演「清水一角」一龍齊貞山

印刷物の御用命は總て
印刷日毎警常
番〇三六話電

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電一七〇〇

- △農夫 廿七才 高卒 給料面談(小川村某)
- △雜夫 卅六才 高二修 給料面談(伊達郷某)
- △商店雜役 廿五才 高一 給料面談(石川郡某)

小説 七五郎

(百廿二)

渡邊默禪作
布施平八郎畫

【載轉禁】

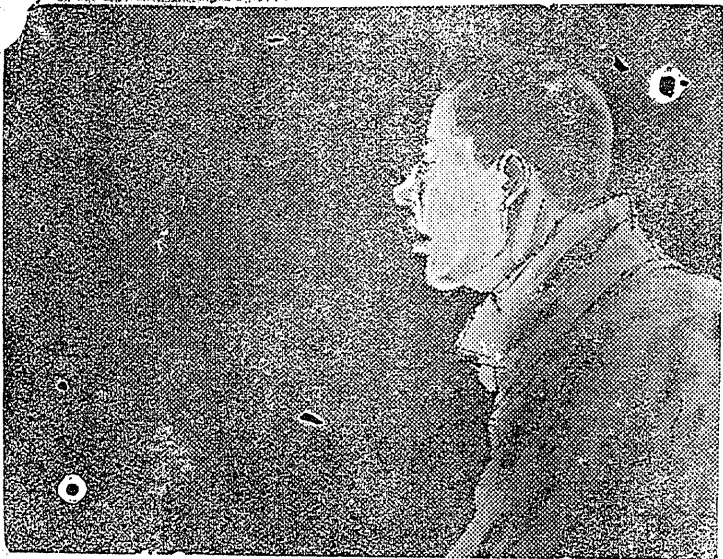
怪しの手紙 (8)
『如何したといふのさ、だ
しぬけに飛出したりかして
……吃驚するじやありませんか』
『いやあどうも』
高野は体面悪げに頭を掻
いて苦笑ひした。

『いやア、どうもちやない
よ、何たつてこんな所へ來
たのさ……一体誰に聞いて
? 誰が言つたの私が此處に
ゐるつて』
郁子は語氣をあくしくして
傍に詰寄つて來た。
彼は兎角の返事に迷ひつ
つ……

『いや、何でございます、
實は別荘に伺ひましたとこ
ろがどこへかお出ましたにな
つたかお見えにならないと
いふものですから多分お運
動にお出かけなすつたもの
だらうと思ひまして、そつ
ちこつち御探し申したので
す、すると氏下の百姓が今
山の方へお上りになつた御
婦人があるが、そのお姿が
どうやら奥さまらしかつた
と然う申しますので直と御
跡から此處へまゐつたやう
な譯ではい』

『えい、それは……あの何
でございます、その……其
處に捷徑……捷徑があるの
を奥さん御存知ありません
か、若尾山から續いて居り
ますので、はい』
『捷徑があるの、へい』
郁子はそれでも打解けた

『苦しい言譯をした、と郁
子は難かしい顔をして
『百姓が私を見かけたつて
? へえ……』
でも高野、そんなところ
から不意に飛出すのは訝し
いぢやないの、その石段
をまつすぐに上つて來たら



『そして、お前、何の用事
があるの、今頃……よく體
だけやつて來る人だねえ』
『いえ、さういふ譯ではあ
りませんが……實は急用が
出來たものですから』
『どんなことが出來て』
郁子は訊ねた
彼は眞言しやかに
『主治醫の話を聞いて見ま
すと、御主人の御病氣はど
うも宜しくないやうです、
經過の如何に依つては或は
命に關するやうなことがな
いとも限らないつて、然う
申してゐました。』

『そして、お前、何の用事
があるの、今頃……よく體
だけやつて來る人だねえ』
『いえ、さういふ譯ではあ
りませんが……實は急用が
出來たものですから』
『どんなことが出來て』
郁子は訊ねた
彼は眞言しやかに
『主治醫の話を聞いて見ま
すと、御主人の御病氣はど
うも宜しくないやうです、
經過の如何に依つては或は
命に關するやうなことがな
いとも限らないつて、然う
申してゐました。』

何處に行つてゐるのか、何故
至急に呼寄せるやうにしな
いのだ、千代子さんに然う
言つてゐるのを私が聞きま
した、其處へ抑いに行つて
來たあの運轉手の清作奴が
若主人を抱き込んで何と
か仕やうといふ目算でせう
若主人が歸つて來てると
か來なむとかで千代子さんと
こそ、話し合てる様子が
余程變な雲りなんです、
事に依ると若主人の方が貴
女より先に歸つて來て何か
企みあしないかと然う思ふ
んですがね、若し彼等に機
先を制せられて親族會議で
も開かれるやうなことにな
ると……』

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
林病 腸胃病 胃性
門專 腸病 胃性
院醫科 腸病 胃性
〇七一話電 町南平

新案特許
號五一三五第一
小鍛式極東ムシカマド
◎本品にニセ物有小鍛式に御注意
元賣販造製
店商治鍛小
番三三電 三平

吉田眼科病院
平野屋町電話六八番
御挨拶
肅啓時下向寒之候各位益々御清詳に涉せられ慶賀
之事に奉存候陳者小生儀今般左記の個所に寫眞館
開業仕候何卒倍舊御眷顧御引立に預り度設備技術
ベストを竭して御用命に應じ度御愛顧の程幾重に
も奉懇題候 敬具
追て一々拜趨御挨拶申上可きの處不取敢紙上
以て如斯に御座候 諸橋嘉吉

美味!
芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

◎最新式電機應用の斬新なる撮影法で
必ず御満足を期します
◎書間夜間共何等の變りなく撮影が出
來ます
◎出張撮影も迅速に致します
◎料金は開店披露のため特別割引致し
ます
各種營業
高級寫眞 寫眞 寫眞 寫眞
平町田町 丸新デパート
サクラ 寫眞館

難波醫院
平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番